

第52回

神無一族の氾濫

担当 神無七郎

今回の「氾濫」のお題は「ルールの回避」。そのルール独自の着手を防ぐ狙いを含む作品の特集です。

具体的に言うとう「強欲」なら駒を取れる局面を避ける、「sardam」なら同種の駒で受ける応手を防ぐ、といった具合です。フェアリーではそのルール独自の着手を強調することが多いのですが、敢えてその逆を狙いとする天邪鬼な作品を集めました。

これは今回の出題作にルール独自の着手が出てこないという意味ではありません。むしろルール独自の着手を防ぐため、ルール独自の着手を活用する作品が多く登場します。解答者の皆さんは、あまり今回のお題を気にせず、純粋に作品を楽しんでください。

なお今回もルール名は「ばか」を「協力」、「自殺」を「自玉」と表記しています。ルールの内容は変わりません。

【ルール説明】

【sardam】同種の敵駒の利きに入る

手を禁止する

(補足)

(1) 玉を取ると同種の敵駒の利きに入る

手は王手とならない(タイプA)

(2) 成駒と生駒は別種の駒として扱う

【Andernach】玉以外の駒は、駒取り

を行うと、その場で相手の駒となる

(補足)

(1) 取ると二歩になる場合、相手の駒にならない

(2) 駒の向きの転換は成生の選択後。成

生の選択権は手番側にある

(3) 駒取りの場合に限り、相手陣2段目

への桂の不成、1段目への桂香歩の

不成が可能(二歩の例外を除く)

【協力自玉スタイルメイト】先後協力

して最手数数で攻方をスタイルメイ

ト(王手は掛かっているが合法手のない状態)にする

【受先】受方から指し始める

【強欲】駒を取る手を優先する

【出題作についての補足】

①は純粋な協力詰。今回のお題とは無関係です。紛れは少ないので、一歩一歩着実に局面をほぐしてください。

②は初手が一つだけ。2手目と3手目の選択が鍵になります。

③は「詰」ではなく、「スタイルメイト」を指す問題。「受先」なので受方から指し始めますが、攻方と異なり受方には王手義務はありません。自由に選べる初手の使い方が重要です。

④はAndernachで駒の所属が頻繁に変わります。所属が変わらない狙いの手は最後の方に出てきます。

⑤は「強欲」なので、下手な王手をする、すぐに攻駒がなくなり、守備駒の監視網をかいくぐる手順を見つけてください。

懸賞問題

▼締切6月末日。呈賞5名。解答は編集部または左記アドレスへ

E-mail: k7ro.ts@gmail.com

メール解答の際は件名に「解答」の語句を入れてください。

▼評価点不要。短評歓迎。1題の正解でも呈賞の対象となるので解けた分だけでも解答を送って下さい。

③ 上谷直希

協力自玉スタイルメイト25手(受先)

	9	8	7	6	5	4	3	2	1
王	角							と	香
歩									香
									桂
									桂
					香				角
								料	歩
飛									王
飛									王

持駒 なし

一二三四五七八九

④ 神無七郎

Andernach 協力詰 33手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1

持駒 飛飛

一二三四五七八九

① 神無七郎

協力詰 227手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1
								王	香
								飛	香
									歩
									歩
									料
									料
									香
									香

持駒 なし

一二三四五七八九

⑤ たくぼん

強欲協力詰 107手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1

持駒 角

一二三四五七八九

② 神無太郎

Isardam 協力詰 9手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1

持駒 桂桂桂香

一二三四五七八九